

## 10月6日（火）令和2年度 学校運営協議会が行われました。

日時：令和2年10月6日（火）10:00～11:35

場所：西条特別支援学校 会議室

### ○校長あいさつ

今年度より学校教育目標を大幅に変更しました。「チャレンジ」ということで、生徒だけでなく先生方にも色々なことにチャレンジしてもらいたいと思っています。今朝の新聞報道にもあったように西条農業高等学校さんも様々なことにチャレンジされています。本校も参考にさせていただきたいです。この度のコロナウイルスのピンチをチャンスと捉え、当たり前の事を見直すチャンスとしていきたいと思います。議員の皆様のご意見をよろしくお願いします。

### ○リモート参観授業

中学部→高等部→分級→小学部

### ○学校説明

- 学校経営計画中間評価について
- こころのいずみプロジェクトについて
- 業務改善推進プロジェクトについて

### ○協議・委員による中間評価

#### 【個に応じた主体的な学びを促す授業の実施に取り組む学校について】

澄川 委員) 学校教育目標を新しく変え分かりやすくなった。ぜひ本校も真似をしたい。

本校もキャリア教育は、外とつないでoutputを意識している。

竹林地委員長) キャリア教育には「社会の力を借りる」ことは示されている。また「対話する」ことによりキャリア発達も促される。対話を重視して欲しい。

#### 【児童生徒が安全に安心して学校生活を送ることができる学校について】

兼田 委員) 備蓄品は1日分のみではなく、2～3日分を準備しておくことも必要である。

澄川 委員) 入学時に水や乾パン等を一括購入し学校で保管し、卒業時に渡している学校もある。

須藤 委員) (生徒指導) アンケートを取ったということが大切であり、その結果を教員に投げかけたことがよかった。教員にも主体的なものを求めており、よいと思う。

船橋 委員) 今年度は特に評価が難しいと思う。できていないからC評価ではなく、これに対してこのようにしていく等の方針があるのであれば、もっと総合的に判断してもいいのではないかな。

西条特支は、あいさつが飛び交うというイメージはあまりないかもしれない。こ

ちらが上手く挨拶ができていない状況もあるが、自然に挨拶ができ、そこからコミュニケーションが始まる事もあった。このアンケートをきっかけにして欲しい。また、今挨拶ができていいるよい事例や、外から意見等も聞き揭示する等してもよいのではないか。

#### 【社会の変化に柔軟に対応し、組織的にチャレンジし続ける学校】

澄川 委員) ころのいずみプロジェクトに出ている本校と関連することは、本校生徒会と相談するとよいと思う。

業務改善推進は、意見をカテゴリー分けやグルーピングする等し、みんなに投げかけながら進めるしかない。

船橋 委員) 意識の共有の前に、意見の共有が必要ではないか。改善したことに対して意見ももらう。同じ改善したことに対して「よかった」と「困った」という意見が出るだろう。その両方で話し合いをしてもらう場面を設定する等、少しずつみんなを巻き込んでいく。意見の共有・共鳴が必要ではないか。改善策についてよかったか困ったかは、シールを貼る等、負担にならない方法を考えて行くとよい。

竹林地委員長) 地域との連携を考える時に、子どもたちにとってその活動に必然性・必要性があるがポイントになる。

#### 【その他】

船橋 委員) HPで今年度より新しくなった学校案内を拝見した。カラフルな作りがとてもよい。

澄川 委員) 地区の集まりでも西条特支の保護者が、新しくなった学校案内を自慢されていた。

#### ○校長謝辞

貴重なご意見をありがとうございました。更なる学校教育の質の向上を目指し取り組んでいきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。

